

美中の美



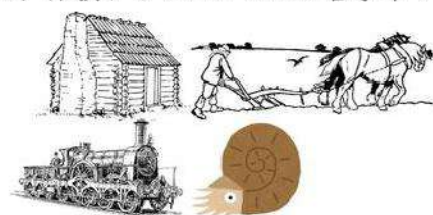
発行責任者 校長 杉田 嘉雄

食欲・スポーツ・読書の秋！過ごしやすい気候から、学力も大きく伸ばす段階へ！

大変盛り上がった学校祭が終了し、前期中間テストが実施され、5連休の後、総合的な学習の時間を使った地域学習が本格化してきました。地域の良さを学び、市外の施設を見学・研修し、体験するプログラムが各学年で年間計画に基づき、実施されています。今後、ICT機器等を活用しながら、



まとめや発表となるわけですが、個や班で互いに考えを高め合うことで、思考力・判断力・表現力を高め、自らが居住する“美唄市”や“空知”についてより見方・考え方を深める取組が集中してきます。朝晩の空気がめっきり冷たく感じるようになり、季節は収穫の秋を迎えておりますが、“学び”の季節としても良い季節がやってきました。まずは自分自身の学力や課題に応じた自己解決に取り組み、その後周囲の仲間と意見交流しながら他者の意見を参照し、自らの考えを見つめ直して、必要に応じ再検討、修正を図り、より良い答えにつなげる取組をすべての教科等で取り組んでいます。意見交換する場面では、良い意見を持っていても友人の意見に引っ張られたり、その場のノリでよく考えずにグループの意見を取りまとめてしまう場面もなくはありませんが、周囲の意見を取入れたりと、採用されることによって、個や集団の意見を再構成する大変素晴らしい機会となっています。話し合いの中では、様々なやりとりがあります。互いの人間関係やコミュニケーション能力、非認知能力(テストや数値では測れない能力)などにより、グループの意見は大きく違いが出てくることもありますが、さらにクラス全体で他者の意見を参考に学び合う場面をつくると、個から集団へ、集団からクラス全体へと、得られた知識に厚みが増し、相乗効果となってより確実な定着が期待されます。間もなく前期が終了しますが、校内では来る後期に向けて、生徒会役員選挙や学級組織の編成を行っているところです。また、後期が始まれば、早速、教員との教育相談が実施され、「半年後の自分はになりたいか、そのためにどのような目標を立て、どんな努力をし、どんなことが身に付いていないとならないのか」などについて話し合うなど、生徒諸君が有意義な後期の学校生活を送るためにもこの教育相談は貴重な機会となります。



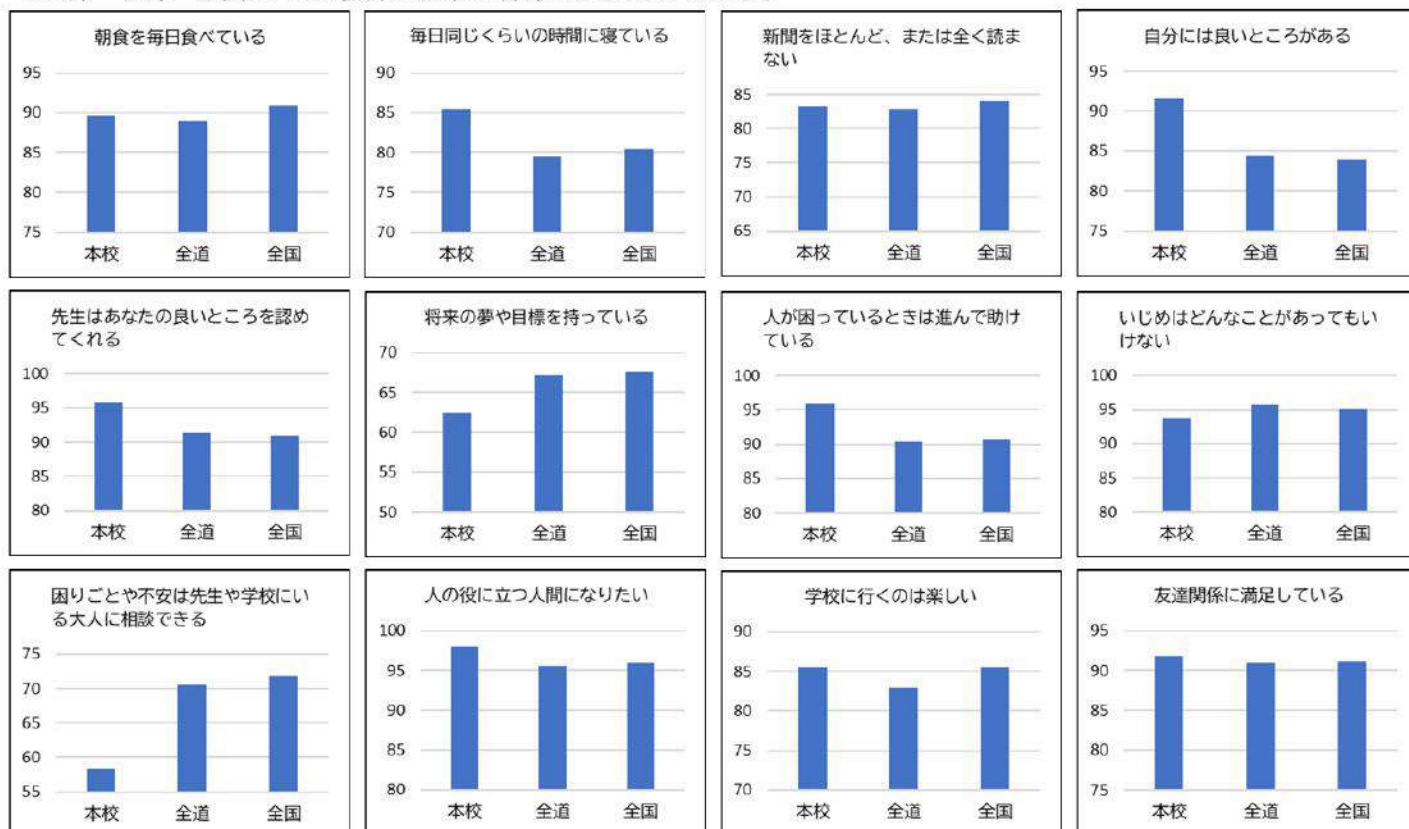
例年とは異なる感染流行期の訪れにやや困惑・心配？！

校舎前のナナカマドの実が赤く色づき、虫の集く音も一層元気になってきました。本格的な秋を迎えておりますが、やや気になるニュースも入ってきております。報道等で、すでにお聞き及びかと思いますが、例年に比べて早い時期のインフルエンザの感染が報告されています。昨シーズンもいつもより早いとされていたのですが、今シーズンは何とまだ、蒸し暑さの残る時期から感染のニュースが流れ、とても心配しています。確かに朝晩の気温差が激しく、体調を崩しやすい時期を迎えていますので、インフルエンザ対策だけに限らず、暴飲・暴食や深夜の SNS 利用による睡眠不足、体調不良など、健康維持の大切さについて考えていかなければなりません。校内でも基本的な感染症対策「うがい・手洗い」などの基本的な予防策を引き続き啓蒙していく予定ですので、基本的な生活リズムの維持について、ご家庭でもご指導いただければ幸いです。



R 8 全国学力・学習状況調査の結果をお知らせします その①

今年4月に本校3年生が実施した「全国学力・学習状況調査」の結果が届きました。3年生一人一人の結果については、すでに生徒を通して各家庭に返却しています。今回は皆さんに「生徒質問調査」の結果と分析をお伝えし、次号で国語・数学・英語などの教科の結果を皆様にお知らせします。



- 多くの項目で全道・全国平均を上回る結果となりました。特に、「自分には良いところがある」「先生はあなたの良いところを認めてくれる」「人が困っているときは進んで助けている」「人の役に立つ人間になりたい」などは9割を大きく超えており、本校生徒の大きなよさです。
- 「朝食を毎日食べている」「毎日同じくらいの時間に寝ている」など、基本的な生活習慣についても、全道・全国平均を上回っています。また、「学校に行くのは楽しい」「友達関係に満足している」も高い結果となっており、安心して学校生活を送っている生徒が多いことがうかがえます。
- 一方、「困りごとや不安を先生や学校にいる大人に相談できる」は約58%と、全道・全国平均を大きく下回っています。また、「将来の夢や目標を持っている」についても、全道・全国平均を下回る結果となりました。
- 「いじめはどんなことがあってもいけない」は9割を超えていますが、全道・全国平均をやや下回りました。いじめを許さない意識を引き続き大切にするとともに、互いの違いやよさを認め合う集団づくりを進める必要があります。

これらの結果から、本校生徒の「自分のよさを認める」「人を助ける」「人の役に立ちたい」という強みを生かし、互いに認め合い、支え合う親和的な集団づくりをさらに進めて参ります。

特に、「相談できる」という項目については、「相談しなさい」と生徒に求めるだけでなく、教職員が日頃から生徒の変化に気付き、声をかけ、対話をすることを大切にします。「困ったときに相談しても大丈夫」と生徒が思える信頼関係を築き、安心して悩みや不安を話せる学校づくりを進めて参ります。

また、「将来の夢や目標」については、進路選択の時期だけに考えるのではなく、日々の学習や学校生活が自分の将来とどのようにつながっているのかを考えたり、自分の興味や得意なことに気付いたりする機会を増やします。生徒が自分のよさや可能性に気付き、将来に向けて一歩踏み出せる教育活動を進めて参ります。

これからも、「安心して相談できる関係づくり」「互いに認め合い支え合う集団づくり」「将来につながる教育活動」を大切にし、生徒一人一人が安心して学校生活を送り、挑戦できる学校づくりに努めて参ります。



9/4 学校祭 ダンス発表



9/8 1年生家庭科 着付け教室



9/16 教育実習生授業

各種行事や写真(PW付)はホームページをご覧ください